

敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合
第5回評価会合の結果について

2013年5月15日
電気事業連合会
会長 八木 誠

本日、日本原子力発電「敦賀発電所敷地内破砕帯の調査に関する有識者会合第5回評価会合」が行われ、敦賀発電所敷地内の破砕帯について、「耐震設計上考慮する活断層である」とする報告書案が取りまとめられた。

日本原子力発電は、これまで、様々な調査データに基づき D-1 破砕帯は耐震設計上考慮すべき活断層ではないことを説明してきており、加えて、現在も、追加調査を継続し、主張の妥当性について実証していく考えを示している。

こうした状況において、本日の判断が出されたことは誠に遺憾である。

原子力規制委員会におかれては、追加調査の結果も踏まえ、データに基づいてさらに詳細に検討を進めていただくとともに、科学的・技術的な見地から十分な議論を行い、あらためて結論を出していただきたい。

以 上